

「消防に関する特別世論調査」の概要

平成24年10月4日
内閣府政府広報室

調査概要 調査対象 全国20歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率) 1,864人(62.1%)
調査期間 平成24年8月23日～9月2日
調査方法 調査員による個別面接聴取

調査目的 消防に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。

調査項目

- 1 消防団に対する認知
- 2 消防団の入団に対する意識
- 3 消防団に入団しない理由
- 4 身近な人が消防団に入団することに対する賛否
- 5 身近な人が消防団に入団することに反対する理由
- 6 自主防災組織に対する関心度
- 7 自主防災組織への参加に対する意識

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室

世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1

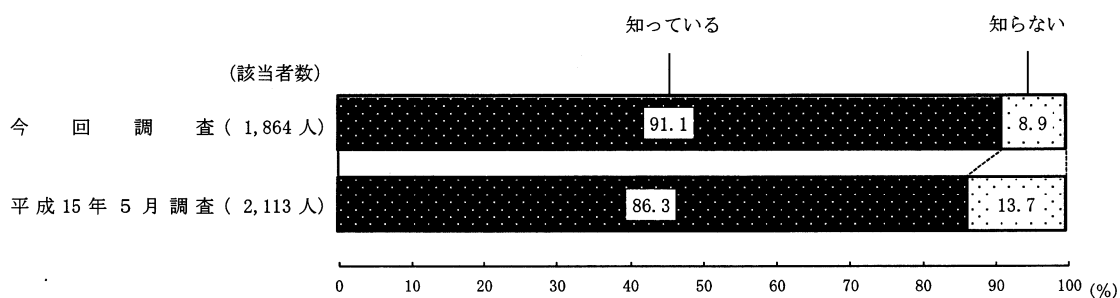
電話 03(3581)0070

FAX 03(3580)1186

1 消防団について

(1) 消防団に対する認知

	平成15年5月		平成24年8月	
・知っている	86.3%	→	91.1%	(増)
・知らない	13.7%	→	8.9%	(減)

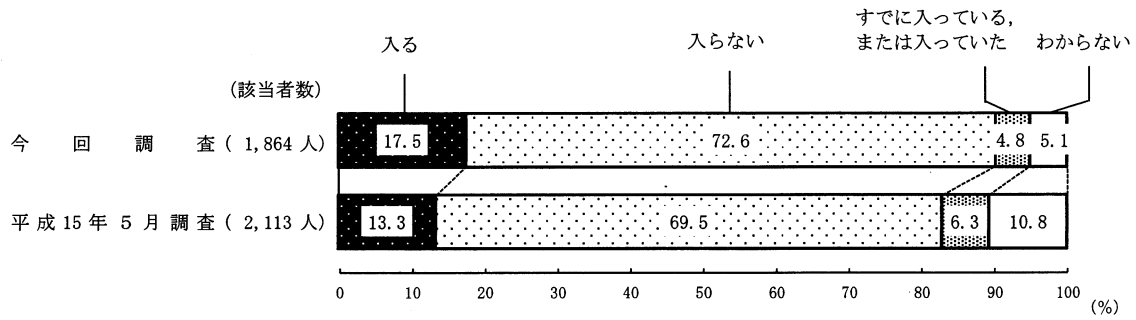


	該 当 者 数	知 っ て い る	知 ら な い
	人	%	%
今 回 調 査	1,864	91.1	8.9
平 成 15 年 5 月 調 査	2,113	86.3	13.7
平 成 元 年 7 月 調 査	2,322	82.0	18.0

(注)平成元年7月調査では、「市町村の消防機関としては、常勤の職員による消防署のほか、住民有志による消防団があり、災害の発生時に活動していますが、あなたは、このような消防団があることを知っていますか。」と聞いている。

(2) 消防団の入団に対する意識

	平成15年5月		平成24年8月	
・ 入る	13.3%	→	17.5%	(増)
・ 入らない	69.5%	→	72.6%	(増)
・ すでに入っている, または入っていた	6.3%	→	4.8%	(減)



(注)平成15年5月調査では、「あなたは、もし、消防団に入りたいと言われたら入りますか、入りませんか、それともすでに入っていますか。」と聞いている。

[参考] 消防団員への入会希望について

	該 当 者 数	入 る	入 ら な い	す で に 入 っ て い る	わ か ら な い
平成元年7月調査	2,322人	12.7%	72.8%	3.4%	11.1%

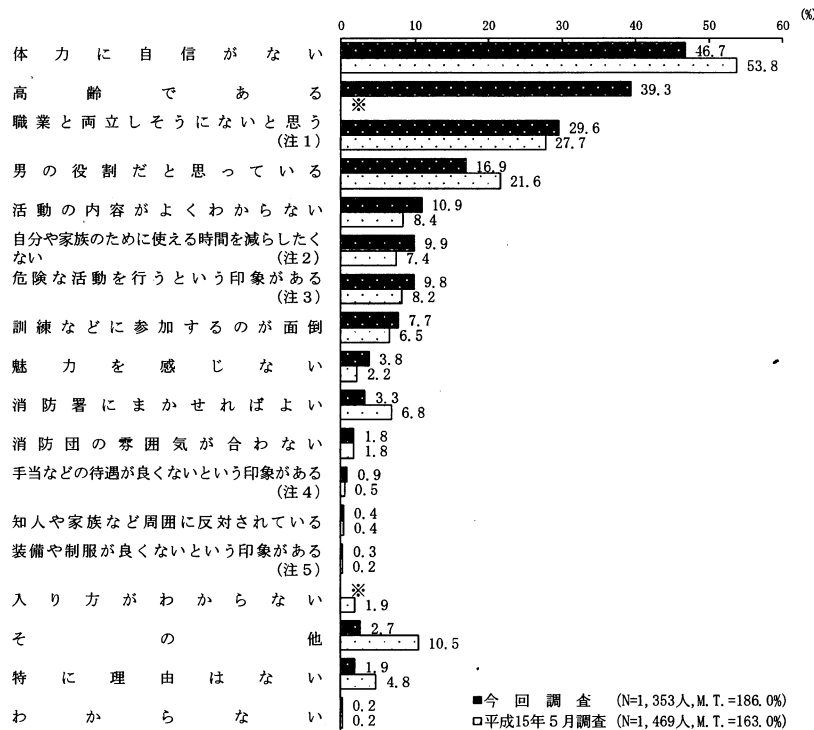
(消防団に入団してほしいと言われたら「入らない」と答えた者(1,353人)に)

(3) 消防団に入団しない理由

(複数回答, 上位4項目)

	平成15年5月		平成24年8月	
・体力に自信がない	53.8%	→	46.7%	(減)
・高齢である	※	→	39.3%	
・職業と両立しそうでないと思う	27.7%	→	29.6%	
・男の役割だと思っている	21.6%	→	16.9%	(減)

(消防団に入団してほしいと言われたら「入らない」と答えた者に, 複数回答)



(注1)平成15年5月調査では、「職業と両立しない」となっている。
 (注2)平成15年5月調査では、「自分や家族のために使える時間を、減らしたくない」となっている。
 (注3)平成15年5月調査では、「危険な活動を行う」となっている。
 (注4)平成15年5月調査では、「手当などの待遇が良くない」となっている。
 (注5)平成15年5月調査では、「装備や制服が良くない」となっている。
 ※:調査をしていない項目

[参考] 消防団に入らない理由

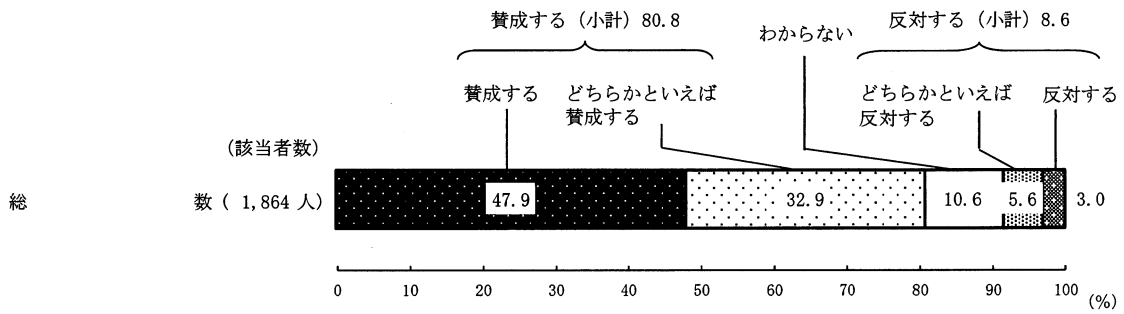
(消防団に「入らない」と答えた者に, 複数回答)

該当者数	年をとっているから	体力に不安があるから	女性のやることではないから	職業と両立しないから	危険だから	消防署にまかせればよいから	活動の内容がよくわからないから	面倒だから	訓練などに参加するのは	職場が遠いから	消防団は閉鎖的だから、体質が古いから	待遇がよくないから	その他	特に理由はな	わからない	計 (M.T.)
平成元年7月調査	1,691	29.3%	27.9%	24.6%	24.6%	7.6%	6.7%	6.2%	5.5%	3.8%	0.9%	0.8%	4.1%	3.8%	0.5%	146.4%

(4) 身近な人が消防団に入団することに対する賛否

平成24年8月

・賛成する (小計)	80.8%
・賛成する	47.9%
・どちらかといえば賛成する	32.9%
・反対する (小計)	8.6%
・どちらかといえば反対する	5.6%
・反対する	3.0%
・わからない	10.6%



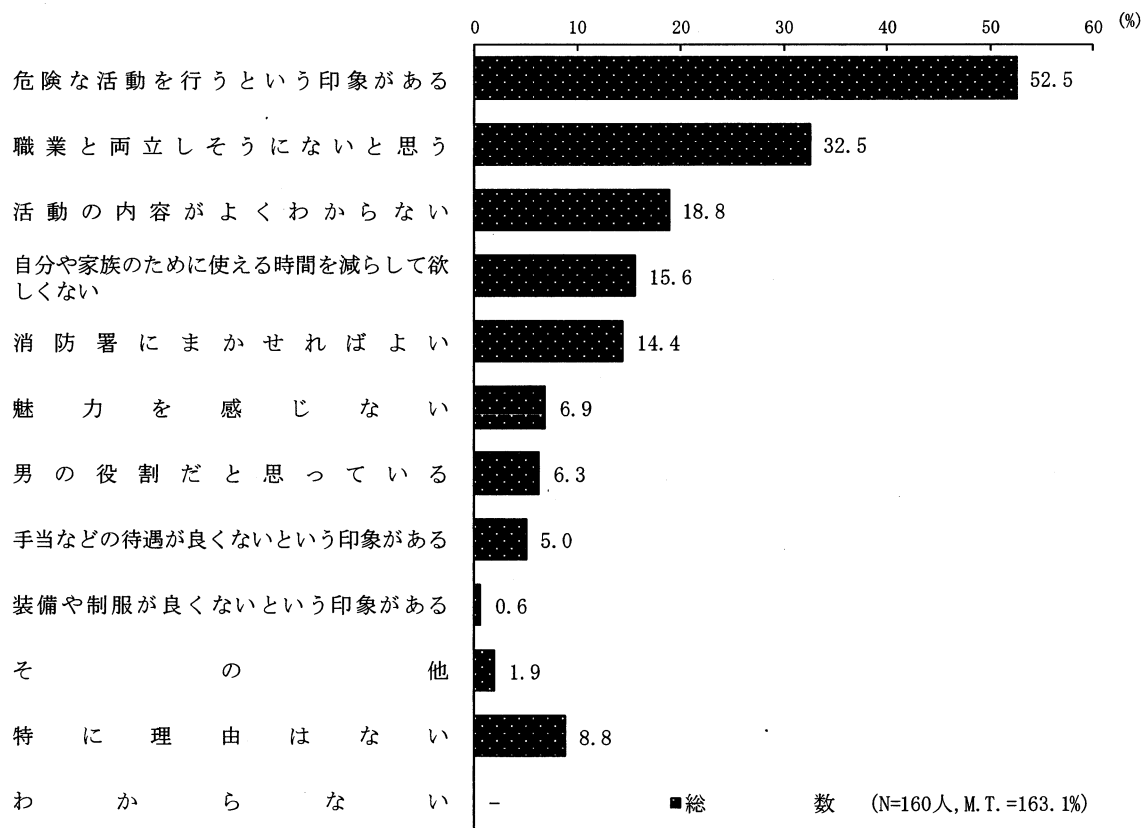
(身近な人が消防団に入団することに「どちらかといえば反対する」, 「反対する」と答えた者(160人)に)

(5) 身近な人が消防団に入団することに反対する理由 (複数回答, 上位2項目)

平成24年8月

- ・危険な活動を行うという印象がある 52.5%
- ・職業と両立しそうにないと思う 32.5%

(身近な人が消防団に入団することに「どちらかといえば反対する」, 「反対する」と答えた者に, 複数回答)

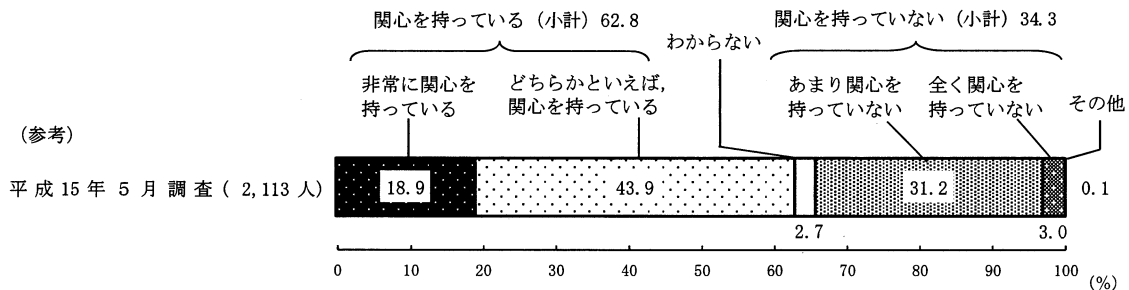
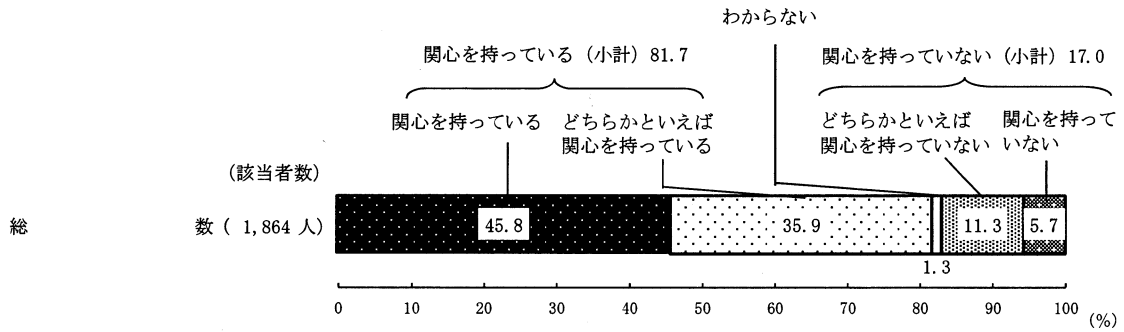


2 自主防災組織

(1) 自主防災組織に対する関心度

平成24年8月

・関心を持っている（小計）	81.7%
・関心を持っている	45.8%
・どちらかといえば関心を持っている	35.9%
・関心を持っていない（小計）	17.0%
・どちらかといえば関心を持っていない	11.3%
・関心を持っていない	5.7%



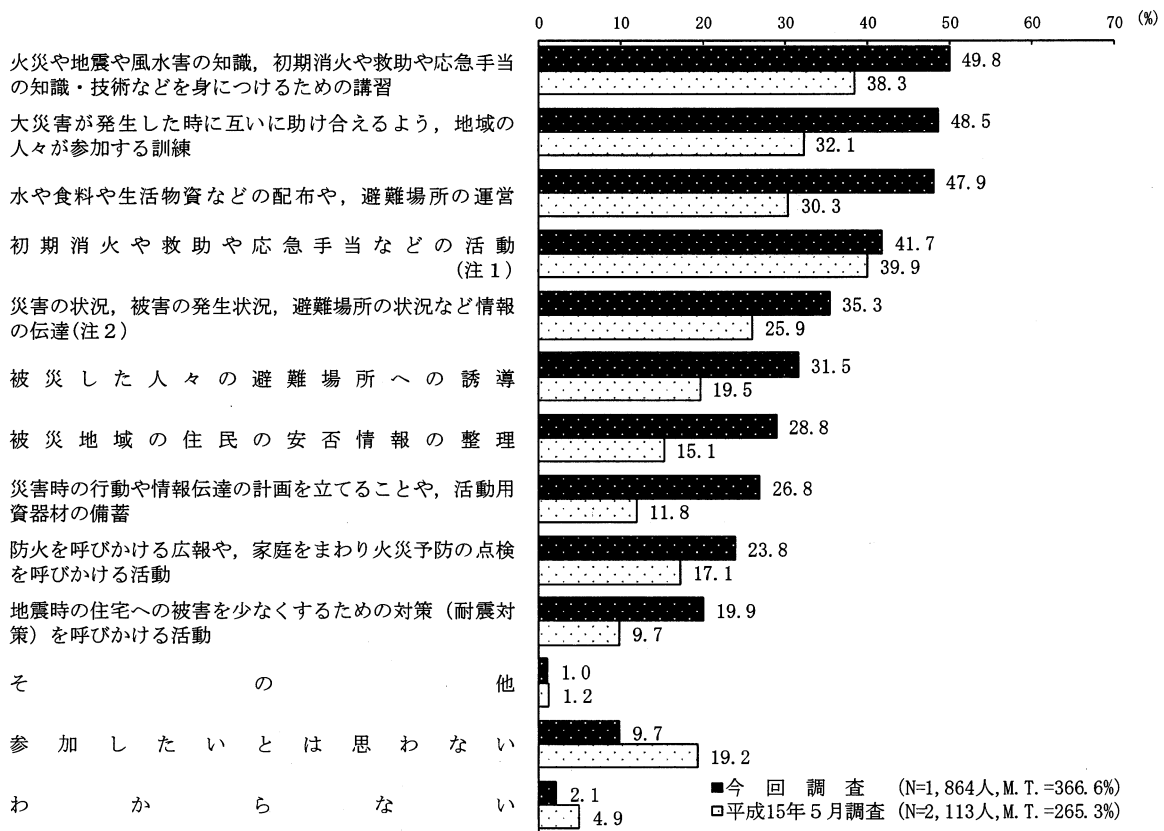
（注）平成15年5月調査では、「大規模地震などの大災害や地域の火災の発生に備えて、地域住民で組織する自主防災組織が各地域に結成され、防火訓練などを行っています。自主防災組織について、あなたは関心がありますか。この中から1つお答えください。」と聞いている。

(2) 自主防災組織への参加に対する意識

(複数回答, 上位4項目)

	平成15年5月		平成24年8月	
・火災や地震や風水害の知識, 初期消火や救助や応急手当の知識・技術などを身につけるための講習	38.3%	→	49.8%	(増)
・大災害が発生した時に互いに助け合えるよう, 地域の人々が参加する訓練	32.1%	→	48.5%	(増)
・水や食料や生活物資などの配布や, 避難場所の運営	30.3%	→	47.9%	(増)
・初期消火や救助や応急手当などの活動	39.9%	→	41.7%	

(複数回答)



(注)平成15年5月調査では、「自主防災組織は、通常時と災害時に、次のような活動をしますが、あなたが参加したいと思うものを、この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注1)平成15年5月調査では、「初期消火・救助・応急手当などの活動」となっている。

(注2)平成15年5月調査では、「災害の状況, 被害の発生状況, 避難場所の状況など, 情報の伝達」となっている。

消防に関する特別世論調査

平成24年10月

調査時期：平成24年8月23日から平成24年9月2日
調査対象：全国20歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,864人(62.1%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「消防」についてお伺いします。

1 消防団について

Q1 市町村の消防機関としては、常勤の職員による消防署のほか、住民有志による消防団があり、災害の発生時に活動しています。あなたは、この消防団というものを知っていますか。

(91.1)
知っている

(8.9)
知らない

Q2 [回答票1] あなたは、もし、消防団に入団してほしいと言われたらどうされますか。この中から1つだけお答えください。

(17.5) (ア) 入る → (Q3へ)
(72.6) (イ) 入らない
(4.8) (ウ) すでに入っている、または入っていた → (Q3へ)
(5.1) (エ) わからない → (Q3へ)

(Q2で「(イ) 入らない」と答えた方に)

SQ [回答票2] あなたが消防団に入らない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=1,353)

- (10.9) (ア) 活動の内容がよくわからない
- (9.8) (イ) 危険な活動を行うという印象がある
- (46.7) (ウ) 体力に自信がない
- (29.6) (エ) 職業と両立しそうでないと思う
- (9.9) (オ) 自分や家族のために使える時間を減らしたくない
- (7.7) (カ) 訓練などに参加するのが面倒
- (3.3) (キ) 消防署にまかせればよい
- (1.8) (ク) 消防団の雰囲気が合わない
- (0.9) (ケ) 手当などの待遇が良くないという印象がある
- (0.3) (コ) 装備や制服が良くないという印象がある
- (3.8) (サ) 魅力を感じない
- (0.4) (シ) 知人や家族など周囲に反対されている
- (16.9) (ス) 男の役割だと思っている
- (39.3) (セ) 高齢である
- (2.7) その他 ()
- (1.8) (ソ) 特に理由はない
- (0.1) (タ) わからない

(M.T.=186.0)

(全員の方に)

Q3 [回答票3] あなたの身近な人から消防団に入団したいと相談されたら、あなたは賛成しますか。それとも、反対しますか。この中から1つだけお答えください。

- (47.9) (ア) 賛成する → (Q4へ)
(32.9) (イ) どちらかといえば賛成する → (Q4へ)
(5.6) (ウ) どちらかといえば反対する
(3.0) (エ) 反対する
(10.6) わからない → (Q4へ)

(Q3で「(ウ) どちらかといえば反対する」, 「(エ) 反対する」と答えた方に)

SQ [回答票4] あなたの身近な人が消防団に入団することを反対する理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=160)

- (18.8) (ア) 活動の内容及よくわからない
(52.5) (イ) 危険な活動を行うという印象がある
(32.5) (ウ) 職業と両立しそうでないと思う
(15.6) (エ) 自分や家族のために使える時間を減らして欲しくない
(14.4) (オ) 消防署にまかせればよい
(5.0) (カ) 手当などの待遇が良くないという印象がある
(0.6) (キ) 装備や制服が良くないという印象がある
(6.9) (ク) 魅力を感じない
(6.3) (ケ) 男の役割だと思っている
(1.9) その他 ()
(8.8) (コ) 特に理由はない
(一) わからない

(M.T.=163.1)

(全員の方に)

2 自主防災組織について

Q4【回答票5】大規模地震などの大災害や地域の火災の発生に備えて、地域住民で組織する自主防災組織が各地域に結成され、防災訓練などを行っています。自主防災組織について、あなたは関心を持っていますか。この中から1つだけお答えください。

- (45.8) (ア) 関心を持っている
- (35.9) (イ) どちらかといえば関心を持っている
- (11.3) (ウ) どちらかといえば関心を持っていない
- (5.7) (エ) 関心を持っていない
- (1.3) (オ) わからない

Q5【回答票6】自主防災組織は、通常時と災害時に、それぞれ次のような活動をしますが、あなたが参加したいと思うものを、この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(通常時の活動)

- (49.8) (ア) 火災や地震や風水害の知識、初期消火や救助や応急手当の知識・技術などを身につけるための講習
- (48.5) (イ) 大災害が発生した時に互いに助け合えるよう、地域の人々が参加する訓練
- (23.8) (ウ) 防火を呼びかける広報や、家庭をまわり火災予防の点検を呼びかける活動
- (19.9) (エ) 地震時の住宅への被害を少なくするための対策(耐震対策)を呼びかける活動
- (26.8) (オ) 災害時の行動や情報伝達の計画を立てることや、活動用資器材の備蓄

(災害時の活動)

- (41.7) (カ) 初期消火や救助や応急手当などの活動
- (35.3) (キ) 災害の状況、被害の発生状況、避難場所の状況など情報の伝達
- (28.8) (ク) 被災地域の住民の安否情報の整理
- (31.5) (ケ) 被災した人々の避難場所への誘導
- (47.9) (コ) 水や食料や生活物資などの配布や、避難場所の運営
- (1.0) (カ) その他 ()
- (9.7) (サ) 参加したいとは思わない
- (2.1) (オ) わからない

(M.T.=366.6)